

展示の展示

みなさんは最近美術館や博物館へ行っていますか？
興味のあるテーマで「行ってみたい！」と思っても、
実際に行くのはなかなか難しいですね。
展示図録を集めました。本で展覧会をめぐってみてください。

●『日本を祝う』

石田佳也／ほか編 土田ルリ子／編 サントリー美術館 2007年



サントリー美術館の開館を記念して開かれた「日本を祝う」展。吉祥の代表である松竹梅や七宝、鶴亀、さらには熨斗（のし）まで、まさに御祝いに相応しい柄の品々がずらっと並んでおり、日本の伝統的な柄の多さにも気づかされます。

写真が美しいのはもちろんのこと、一つ一つの解説も詳しく、読み応えも十分です。

●『椅子展』

東京デザイナーズウィーク／企画・編集 六耀社 2002年

作家123人と大学生が趣向を凝らして椅子を制作しました。思わず座ってみたくなるものからオブジェとして眺めていたいものまで、何百もの椅子が掲載されており、ページをめくる度に想像が膨らむ本です。



展覧会の裏側です

- 『展覧会をつくる 一枚の絵がここにくるまで』
足澤るり子／著 柏書房 2010年

“世界に二つとない作品だから、傷つくことの無いよう適湿温に設定された
厳重な防犯の倉庫から出したくない”けれども、“二つとない作品だからこそ、
世界中の人々にオリジナル作品を鑑賞して欲しい”…。そんな相反する気持ち
が交錯する中で成り立つ美術展。その舞台裏を綴ったエッセイです。

- 『マンガでわかる「日本絵画」の見かた 美術展がもっと愉しくなる!』
矢島新／監修 唐木みゆ／イラスト 誠文堂新光社 2017年



日本画鑑賞は敷居が高いと思いませんか？本書は鑑賞す
べきポイントをイラストやマンガを多数使用して解説している
ため、誰にでもやさしく分かりやすく、つい引き込まれてしま
います。

——売れるカワイイの原点・円山応挙の犬——など、それぞ
れの作品にクスッと笑えるキャッチコピーがついていて、年代
別に掲載されているので初めから読んでも良し、パラパラとめ
くって気になるページから読んでも良しの、面白読み物本です。

本物が
見たくなったら

- 『日本縦断個性派美術館への旅』
なかやまあきこ／写真・文 小学館 2008年

北海道から沖縄まで、個性的な美術館をオールカラーで紹介しています。建
物外観の写真も著者が撮っており、とても魅力的で写真集の様でもあります。
「次の旅のメインは美術館巡り」なんていうのも楽しそうですね。